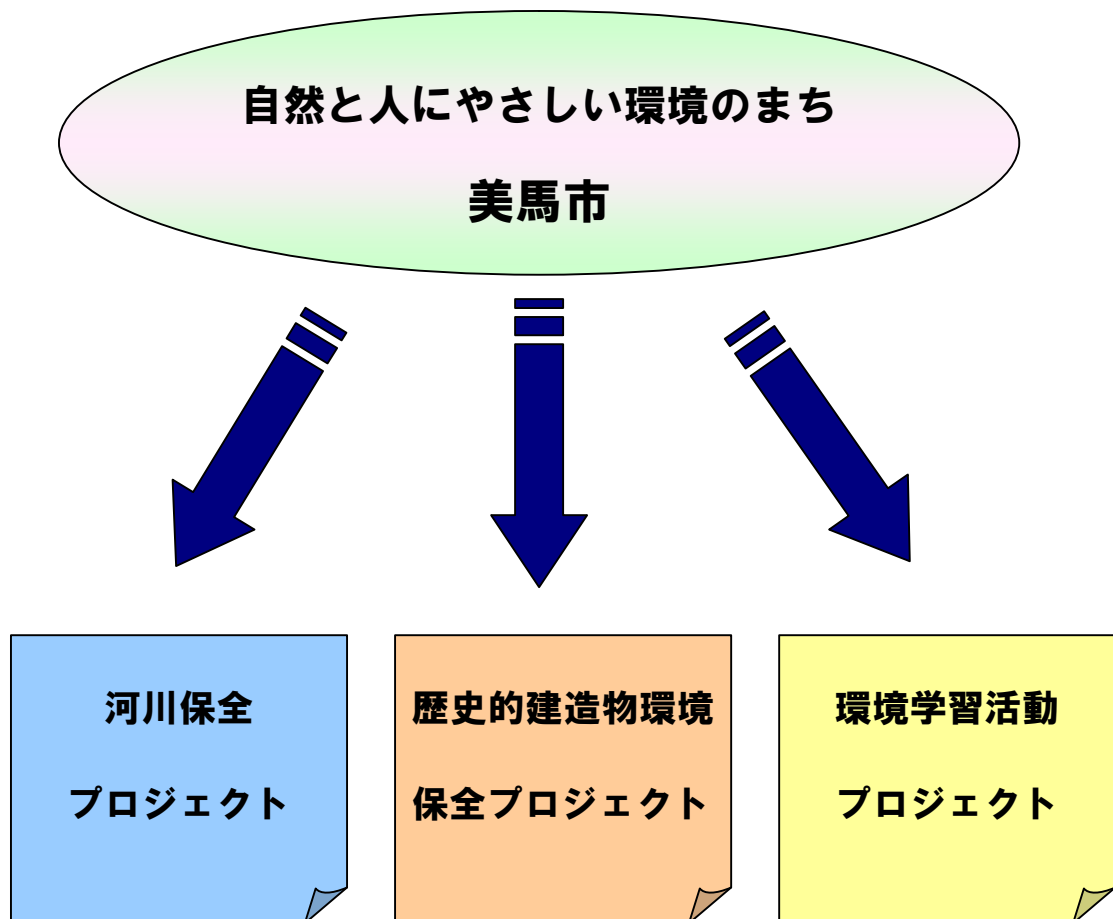


第5章 重点実施事業

環境問題を解決し、将来世代に良好な環境を引き継いでいくための課題には、今すぐ取り組むべき課題と、長期的な展望を持って取り組むべき課題があります。

本計画では、50年先を見通した長期的視点のもと、理想とする環境像である『自然と人にやさしい環境のまち』の実現にむけて、とくに緊急に取り組んでいく重点実施事業として、平成20年度から平成26年度にかけて、3つのプロジェクトを推進していきます。



河川保全プロジェクト

美馬市の中心を流れる吉野川、四国一の清流穴吹川、国の登録有形文化財デ・レーケのある大谷川などの再生・保全をはかるとともに、自然を生かし、子どもたちが安心して水と触れ合える場所づくりを進めます。

○河川の保全・再生・活用

- ・河川を計画的に保全・再生・活用します。
- ・河川周辺に隣接する、竹林・森などを保全・再生・活用します。
- ・河川フィールドを活用した自然体験プログラムの提供を行い、美馬市の自然を伝え、市民とともに守り、育てる取り組みを進めます。
- ・河川・森、そして本市が、市外から訪れる人にとっても魅力ある場所づくりを推進します。

○ネットワークの推進

- ・木屋平と穴吹町を結ぶ穴吹川に隣接する森を拠点とし、ビオトープネットワークの推進をします。
- ・市内の各学校に協力依頼し、環境教育の一環として、水生生物及び動植物調査を行います。

歴史的建造物環境保全プロジェクト

美馬市脇町の中心に位置し観光拠点である、うだつの町並み。また、美馬市美馬町において、いくつものお寺が建ち並び歴史散策を愉しめる寺町など、本市には歴史的建造物が建ち並ぶ地区が存在します。その歴史的建造物地区の環境保全を進めます。

○歴史的建造物地区の環境保全

- ・歴史的建造物地区の環境保全を計画的に進めます。
- ・観光拠点である歴史的建造物地区を、もう一度訪れたいと思える場所への取り組みを進めます。
- ・歴史的建造物地区に居住する市民及び観光ボランティアガイドとともに、環境保全に対する意見交換を行い取り組みを進めます。

○『FACE美馬』活動の推進

・市民においても、また市外から訪れる人に対しても、歴史的建造物地区が美馬市の環境保全の顔となるよう、環境保全活動「FACE美馬」に取り組みます。

- ・ F (F U T U R E) 未来
 - ・ A (A C T I O N) 行動
 - ・ C (C O N S E R V E) 保護
 - ・ E (E C O L O G Y) 調和
- ・歴史的建造物地区での、ごみのポイ捨て・歩行喫煙の禁止など、環境ボランティアガイドを設置し指導を行います。

環境学習活動プロジェクト

「自然と人にやさしい環境のまち」づくりを実現するための教育・学習に関する取り組みを推進していきます。

○環境学習の推進

- ・環境学習活動を推進するための、庁内及び市民参加による推進体制づくりを行います。
- ・環境学習活動普及のためのハンドブックやパンフレットを作成します。

○環境認定制度の推進

- ・感性豊かな子どもたちの育成活動を進め、自然環境やごみ問題について正しく認識し、高い環境意識を持つ人材育成をはかります。
- ・本市内の全ての保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校を対象とします。
- ・専門家や教育関係者（教育委員会・学校長等）による、環境認定制度の仕組みや基本的な考え方、カリキュラム案等の検討、明確なガイドラインの作成を行います。

○環境教育・学習活動の拠点整備

- ・クリーンセンター美馬の施設内に、環境教育・学習活動の拠点となる場を整備し、活用をはかります。
- ・情報収集・情報発信拠点としても整備を行います。
- ・施設を利用し、市民環境ボランティアの人材育成を行います。